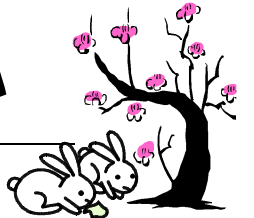


西小っ子だより

【校訓】 直く 正しく 美しく

たつの市立揖西西小学校
〒679-4023
たつの市揖西町住吉142番地
Tel 0791-66-0021
Fax 0791-66-2613
発行責任者 校長 新家 洋一

よい年をお迎えください



間もなく令和4年が幕を下ろします。みなさま方におかれましては、一年間、本校教育にご理解とご支援をいただきありがとうございました。令和5年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、子どもたちは2学期もよく頑張りました。これまでの「西小っ子だより」でも紹介させていただいておりますが、日々の授業だけでなく、多くの体験活動や行事等をとおして力を伸ばしてきました。その頑張りを褒めるとともに、子どもたちには、新年を迎えるに当たって、新たな目標（一生懸命取り組みたいことやできるようになりたいこと、こんな1年にしたいと思うこと等）を立てておいてほしいと思っています。

17日間の冬休みを経て、1月10日(火)から3学期が始まります。3学期は、1年の始まりでもあり、学年のまとめと4月の進学・進級に向けて準備をする時期でもあります。もう一度気持ちを新たに、新しい年を出発させたい、そして、すべての西小っ子が、それぞれの発達段階に応じた目標や希望をもって、充実した学校生活が送れるよう支援して参りたいと存じます。ご協力よろしくお願い致します。



～揖西西小学校の教育方針等をお伝えします～

★11月7日の教育講演会の内容をPTA教養部 副部長がまとめてくださいました。下記のとおり、家族のあり方について考えるきっかけとなるお話でした。今後の家庭教育や子育ての参考になれば幸いです。

コロナ禍では、ソーシャルディスタンスやステイホーム、マスク生活、黙食、オンライン授業など、子どもたちも例外ではなく、今までとは違うコロナ禍ならではの生活を強いられてきました。友達同士のコミュニケーションも変化し、どうしたらいいのか戸惑う場面も多いと思われます。

家庭ではどうなのでしょう。家族は子どもたちにとって一番身近なコミュニティです。親子で上手くコミュニケーションできているでしょうか。例えばお父さんと野球がしたい子がいます。その子の目的は実は野球ではなく、野球を通して得られる「楽しかったり、褒めてもらって嬉しかったり…」という感情をお父さんと共有したいと思っているのです。上手にできた、怪我して痛かった、という感情を共感してもらいたいのです。同じ場面で笑い合い、そして共感してもらえた実感することで、子どもたちは自分の感情や気持ちを素直に表に出すことができるようになります。「忙しいから…、疲れているから…、上手くできないから」と断ったりしていないでしょうか？

子どもの話も聞いていますか？ただ聞くのではなく問いかけることが大切です。問いかけると子どもは答えを考えるようになります。考える機会を持つことが重要で、言われたことをこなしていくのではなく、自分で考えて答えを見つけることの練習がそこでできるのです。それが将来の自立を促すことにつながります。自立というのは自己決定に基づき主体的に行動すること、すなわち自分らしく生きるということです。子どもたちの話に空返事していませんか？

このように家庭の中でコミュニケーションをとるうちに、子どもたちは自分の気持ちを言葉で主張できるようになります。友達同士で主張し合うと意見がぶつかることもあるでしょう。そこで考える力が必要になってきます。いろいろな意見がある中で、「この場面では何がふさわしいのか、私が正しいのか、あなたが正しいのか、みんな正しいのか…」と考える力があれば、対立するだけではなく、みんなの意見を合わせたり折り合いがつけられたりするようになっていきます。コロナ禍で友達とのコミュニケーションが変化しているからこそ、その変化に負けないような気持ちを作れるように、家庭で子どもたちとしっかり向き合ってほしいと思います。



～月行事予定表(別紙)とあわせてご覧ください～

★3学期の始業式は1月10日(火)、給食は1月12日(木)から始まります。10日(火)・11日(水)・12日(木)はいずれも全校児童一斉下校となりますが、3日間とも下校時刻が異なりますのでご注意ください。

★1月25日(水)に来年度入学児童の保護者を対象に「入学説明会」を開催します。並行して、体験入学(入学児童と1年生の交流)を行います。各こども園・保育園所・幼稚園をとおして案内文書を配布しましたが、来年度入学予定児童の保護者の中で、案内文書を渡されていない方、もしくは身近にそういった方がいらっしゃる場合は、学校までご連絡ください。
★2月3日(金)に6年生対象の龍野西中学校入学説明会が計画されています。案内文書は12月16日付けて6年生児童に配布済みです。



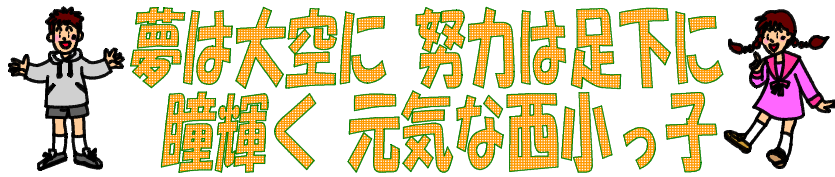
けんこう もり にしゅう こ み もり き
～健康の森から、いつも西小っ子を見つめている森の木の子ぶやきです～

2学期はどうだったかなあ。充実した2学期だったかな？少し振り返ってみよう。良かったところは3学期も続けたいし、残念だったところは3学期にまた挑戦すればいい。森の木は、西小っ子のみんなが、とてもがんばっていたのを見ていたから、嬉しい気持ちでいっぱいだよ。

いよいよ、みんなが楽しみにしていた冬休み。事故やけが、感染症に十分気をつけて、いい冬休みにしてほしい。1月10日(火)の始業式に、元気に会おうね。

令和5年が素敵な一年になりますように…。 (つづく)

(裏面もご覧ください)



夢は大空に 努力は足下に
瞳輝く 元気な西小っ子

《11月8日(火) 4年「河川改修についての学習」》

さまを講師に、およそ40年前に古子川をはじめ中垣内川・小犬丸川を改修することで、それまで毎年のように悩まされてきた水害が、改修後一度も起きていないことを教えていただきました。揖西町のために何としても実現させようと尽力されたことや、今安全で豊かな生活が送れていること等に対し、感謝の言葉が子どもたちから聞かれました。



《11月10日(木)「避難訓練」》

今回は火災発生を想定しての訓練でした。子どもたちは、煙を吸わないようにするためにハンカチ等で口を押さえながら、静かに素早く避難行動ができました。避難訓練後、6年生は消火器の使い方の学習もしました。3年生の時以来の消火器使用訓練で、万に備えて、よい機会となりました。



《11月11日(金) 6年「ふれあいクラシックコンサート」》

市内の6年生が赤とんぼ文化ホールに集い、関西フィルハーモニー管弦楽団の演奏を鑑賞しました。アニメ映画音楽やCMで馴染みのあるクラシックの名曲を演奏してくださり、関心をもって聴き入っていました。



《11月16日(水) 2年「わらうち体験」》

《11月21日(月) 2年「わら縄作り体験」》

さま、さまをはじめ地域のみなさま方を講師に、多数の保護者の協力の下、藁打ちとその藁を使った縄作りを体験しました。後日さらに、クリスマスリースや正月飾りに仕上げました。平素、子どもたちが縄を編んだり使ったりすることはほとんどなく、たいへん貴重な体験となりました。



《11月16日(水)「居住地交流会」》

揖西小校区に居住する西はりま特別支援学校の児童2名が来校し、特別支援学級や同学年の児童と木の実を材料に製作活動をしたり、生活科の「おもちゃランド」で遊んだりして交流を深めました。子どもたちは以前より懇意にしており、久しぶりの再会を喜び、楽しく活動していました。



《11月18日(金) 6年「人間関係づくりプログラム」》

中学校進学に向けて、本校及び龍野小・揖西東小・揖保小の6年生が龍野西中学校に集い、「人間関係づくりプログラム」で交流しました。4月から同級生となる多くの友と出会い、いろいろなアクティビティをとおして、ふれあい、絆を深めてきました。



《11月25日(金) 2年「うどん作りについての事後学習」》

さまを講師に、「広がるうどん作り」のテーマでお話をいただきました。「みんなに感謝し、みんなに喜んでもらいたい」との思いでうどん作りをされていると伺い、うどんのような温かい心と感謝の気持ちで人と接することの大切さを学びました。



《表彰》～受賞者のみなさん、おめでとう(敬称略、数字は学年)～

★たつの市揖保川町空手道大会

第3位 [組手競技 幼児・小学1・2・3年生の部] :

()

★播磨空手道連合会選手権大会

第3位 [形競技 小学1年の部] :

()

《ありがとうございました》

地区訪問継走では、交通整理・安全確保、伴走、車両、準備・片付け、応援等、大変多くの方々のご協力を得て、3年ぶりに開催することができました。ありがとうございました。

また、西つ子感謝祭では、多くの方にご来校いただいたり、都合でご来校いただけなかった方からお手紙をいただいたりして、子どもたちの心に残る会にさせていただいたこと、重ねて感謝申し上げます。これからは何卒よろしくお願い申し上げます。なお、行事の内容等については、共に次号で紹介致します。

小風

作者不詳 (イギリスの詩)

今月の詩 ― せひご家族と一緒に、お読みください

空にあがっている風を見ながら

「ぼくにやできない飛ぼうとすれば

落ちるにきまつてる」と小風がいった。

「まあ飛んでごらん。ために飛ばなきゃ

飛べるものか」と大風がいった。

「だってこわいもの」と小風が答えた。

「そうかそれならもうさよならだ」

大風はそのまま空へ行ってしまった。

そこで小風は羨やましくて

どうかして飛ぼうとからだをゆする。

はじめは怖かったでもだんだんに

勇気がでてずんずんあがって来た。

やがて大風のそばまで行った。

小風はどんなにうれしかったら。

大風のそばにならんだ時は！

ずっとずっととしたの地べたのうえにや

こどもたちの影が小さく小さく見えた。

大風と小風は静かな空で

高い高い空でゆっくり休んだ。

「ああうれしいな鳥と雲ばかり。

ためしたからだ」と小風はいった。(水谷まさる訳)

よく「なぜか」と言われますが、成長するにつれ必ずしもそう

ではないと分かってきます。でも、この言葉には「なぜか」成らぬ何事も

成らぬは人の為さぬなりけり」と続きがなくて、これは全くそのとお

りです。即ち、何事もやってみなければわからないではありません。

結果成功しないかもしれないけれど挑戦してみる、そのことの大切さを

どう伝えていくか。子どもたちが挑戦する機会をできるだけたくさ

ん用意し、励ましてやるのが肝要なのだろうと改めて思います。